

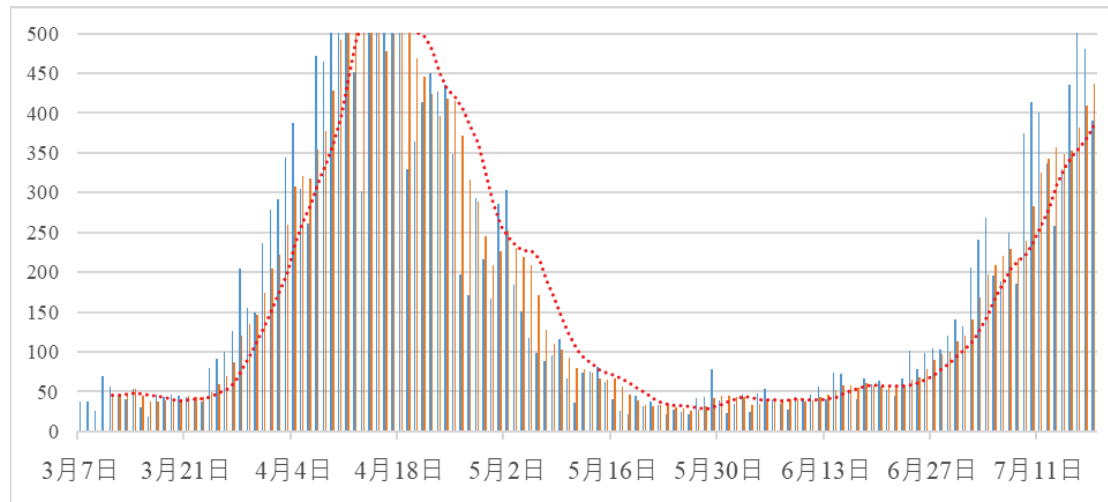
新型コロナウイルス感染症
流行シミュレーション作成事業
結果（2020年7月19日版）

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

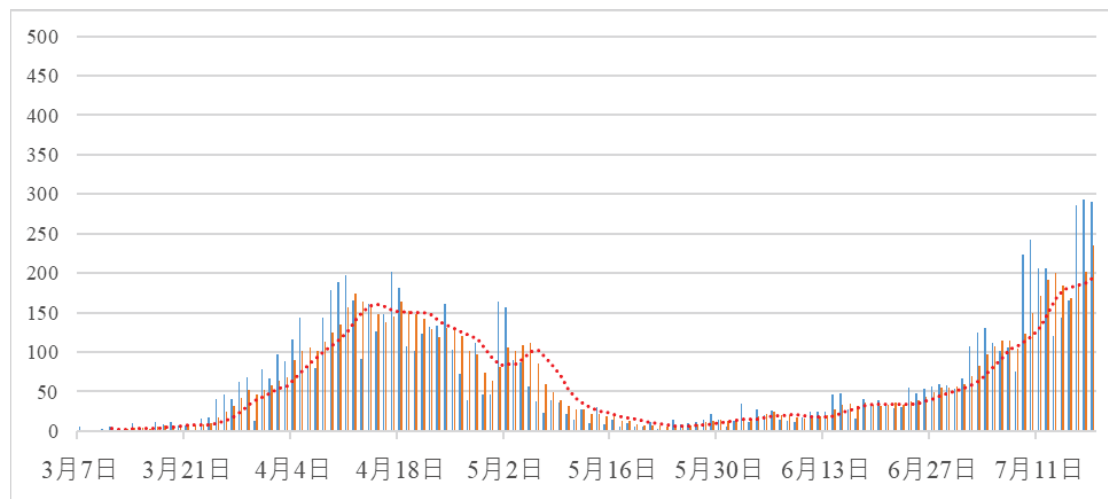
I 流行のリアルタイム評価

- 全国では6月中旬よりPCR陽性者等の報告数が増加している。特に東京における増加が著しい。

全国



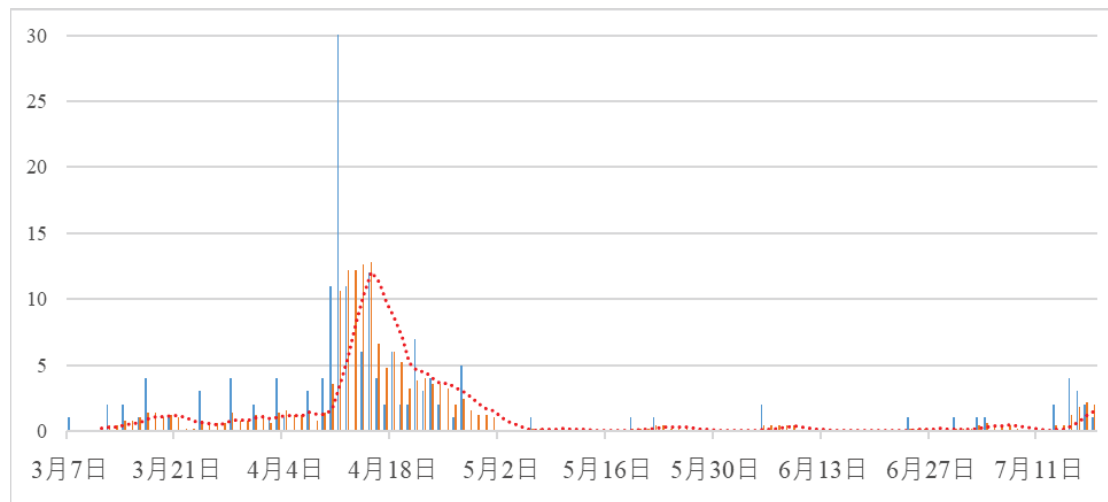
東京



青：報告者数
橙：移動平均（5日）
破線：橙の近似曲線

I 流行のリアルタイム評価

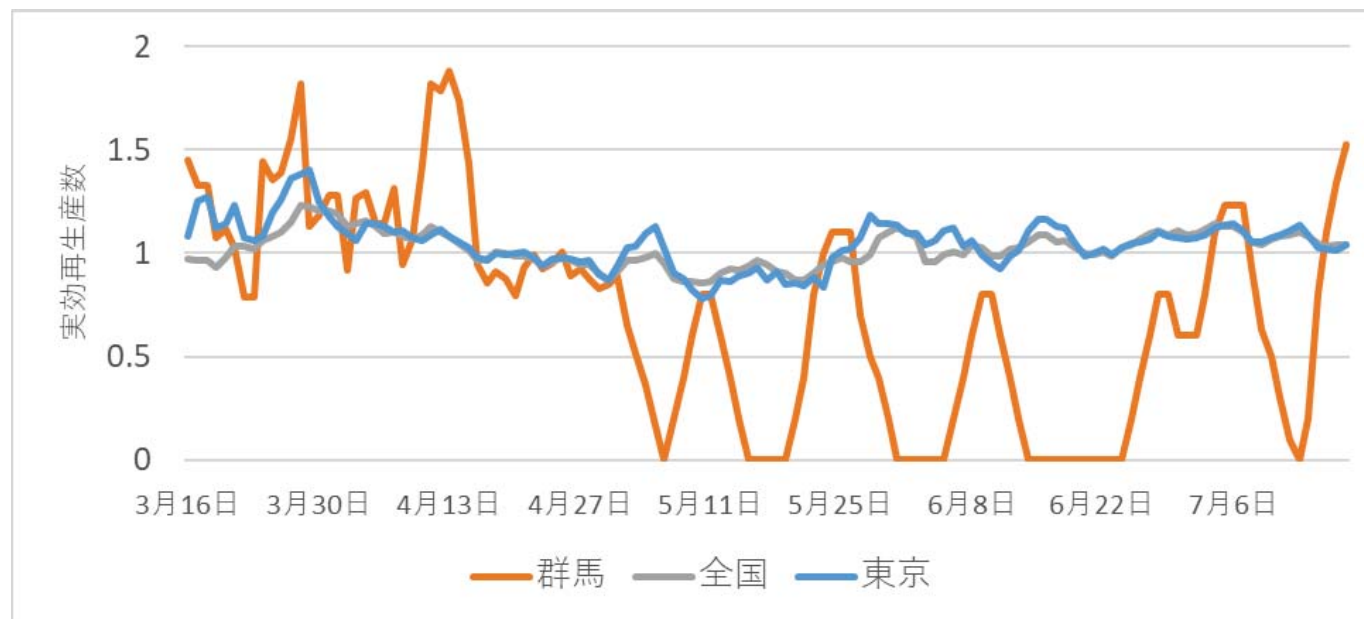
- 群馬県では、4月後半からPCR陽性者等の報告数は減少し、その後は持続する報告はなかったが、7月に入り報告数が再び増加し始めた。
- 東京都で感染して群馬県に持ち帰ったケースが数例あり、それが影響していると考えられる。



青：報告者数
橙：移動平均（5日）
破線：橙の近似曲線

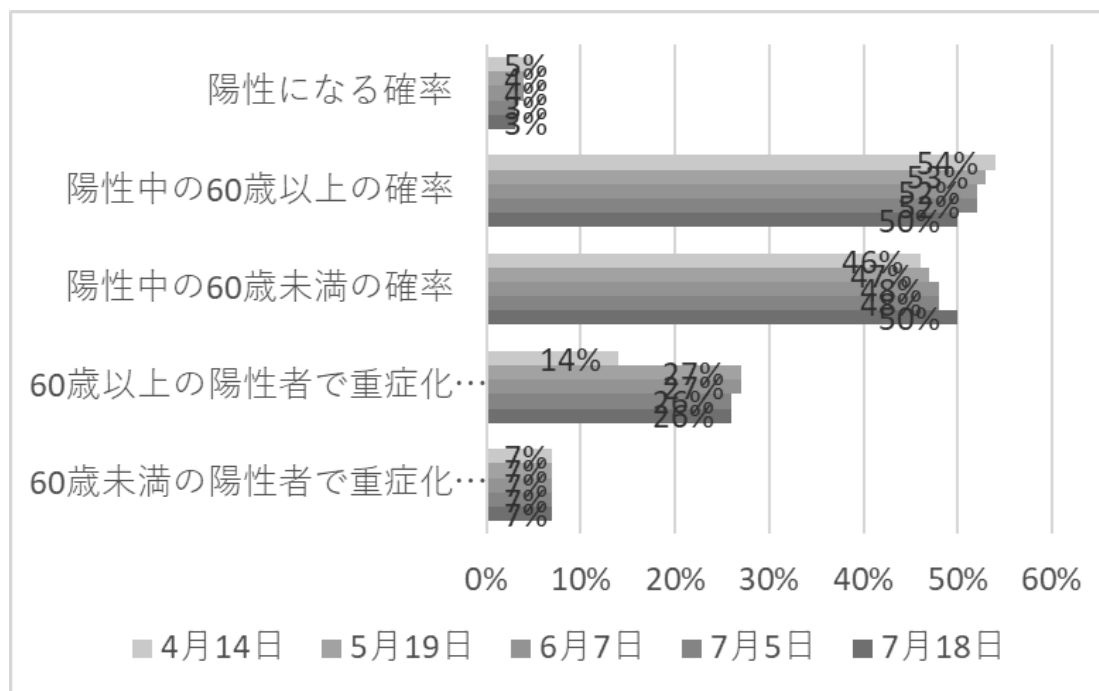
I 流行のリアルタイム評価

- 東京と全国は6月中旬よりPCR陽性者等の報告数が増加し、実効再生産数の推定値は1を超え続けている（流行している可能性がある）。
- 群馬県は7/13よりPCR陽性者等が連続したため再び1を超えた。また7/15に一気に4例報告された影響により最新値で1.5に達した。



II PCR検査結果予測

- 累積のPCR 検査件数からどのくらいの確率で陽性者が出るか推定(Rstan を使用)した。
- 陽性の確率は 3%で変化なし。
- 陽性者中の60歳未満の確率は50%に増加。つまり若い人における陽性化の確率が増加している。
- 60歳以上で重症化する確率は 26%で変化なし。



まとめ

- 現在，全国的にPCR陽性者等の報告数が増加しており，再び流行し始めていると考えられる。
- 東京と全国では，実効再生産数は持続的に1を超えていた。群馬県ではこの1週間に12例の報告があり，最新値で1.5に達した。陽性例を抑制できれば再度1を下回るが，このまま報告が続けば流行の危険性を考慮しなければならない。
- PCR検査の累積情報で評価した結果，若い人における陽性の確率が増加していた。
- 現在の流行状況を考慮すると，引き続き，できるだけ東京との往来は控えることが望ましい。